



SNS で組合を育てる土づくり

— 「看護師のしぶ子さん」のターゲットは看護学生

東京都庁職員労働組合病院支部書記長 だいら ひであき 大利 英昭

現在、都庁職病院支部では、ツイッター、ライン、LINE などいくつかの SNS を活用しています。今回は Twitter、インスタグラム Instagram を用いて展開している「看護師のしぶ子さん」についてお話しさせていただきます。

「看護師のしぶ子さん」の一番の特徴は、その対象を組合員の多くを占める看護師ではなく看護学生にしている点です。なぜ看護学生かというと、日本では毎年約 5 万 1000 人の新人看護師が誕生しています。看護師の養成コースは 3 年制の専門学校、4 年制大学といろいろありますが、5 万 1000 人の約 4 倍が看護学生数と考えると約 20 万人。この 20 万人のうち 2 万人をフォロワーとして獲得できれば、看護学生の 10 人に 1 人が「看護師のしぶ子さん」を通じて学生時代から都庁職病院支部を知っていることになるという捕らぬ狸の皮算用的発想です。

若者の参加でリアルなキャラをつくりこみ

「組合に入って働きつづけることができる職場をつくらう」といった言葉が新人にストレートに届かなくなっています。この言葉が届かないのは 3 つの原因があると考えています。1. 労働組合に触れたことがない。以前組合加入を勧めると「親に相談させてください」と言われてびっくりした

ことがあります。今や新人の親世代も労働組合経験がない人の方が多いのではないのでしょうか。2. 運動の力を体験したことがない。今の現役世代は、運動の力で何かを変えた経験のない世代です。ですから労働組合と出会った段階で「？」が生じているのに、運動の力で職場を改善と言ってもさらに「？」が追加されるわけです。そして最近痛感しているのが、3. ネットにあふれる冷笑主義の影響力です。2018 年 12 月、タレントのローラが^の埋め立てを止めるために署名を呼びかけたことに対して^や揶揄するような言葉がネットを飛び交いました。ストレートに自分の思いを主張し行動することをあざ笑うことがクールといった風潮が新人の組合加入に悪い影響を与えているなど実感します。

そこで看護学生時代から「しぶ子さん」を通じて、看護師として働くリアルや労働組合のことを知ってもらおうと考えました。そのために、「しぶ子さん」が実在しているかのようにリアルにキャラクターをつくりこみました。そしてつくりこむ過程で若手組合員の声を取り入れることができないか、青年部ニュースをつくるのは大変ですが、「看護師のしぶ子さん」をみんなとわいわいつくりこんでいくのは楽しいのではと考えました。

「しぶ子さん」は都立病院に勤める 6 年目の看護師という設定です。実際に看護師の執行委員の勤務表を参考にして「今日は夜勤です」、「日勤が

図 2
19 春闘にむけて作成したライン
スタンプ



ぶ子さん」のすごいところは、労働組合の主張をしても否定的なリアクションが全くないところです。

インスタでも大反響

16 年 12 月から運用を開始した「しぶ子さん」の Twitter は、今では約 5300 人のフォロワーがいます。看護学生ばかりでなく、看護学生を目指す高校生もフォロワーになっていて「看護師になりたいけれど 4 年制大学と専門学校どちらがいいでしょうか」という相談が来るまでになりました。また 4 コマ漫画の評判が良かったので Instagram に投稿したところ、こちらの方がフォロワーの数が増えて今は約 1 万人になっています (2019 年 1 月現在)。

このような活動が新人看護師の組合加入を激的に改善したということは残念ながらまだないのですが、都庁職病院支部という木を育てる土づくりのような作業だと思っています。

「しぶ子さん」の人气が定着してきたので LINE タンプを作成することにしました。その中でただ働きをなくそうという思いを込めて、図 2 のような「NO PAY! NO WORK!!」というスタンプをつくりました。19 年春闘ではただ働きをしない日を決めて、組合員がお互いを励ましあうためにこのスタンプを送りあうことを目標にしています。現代版ワッペン闘争です。

組合を育てる土づくりと、現実場面でのさやかな抵抗を組織する準備のための第一歩。都庁職病院支部の SNS の活用はこんな感じです。

看護師のしぶ子さん
@kangoshishibuko

こんにちは、しぶ子さんです！「とある日の夜勤のできごと」総集編
みなさん、是非読んでみてください！
#看護師のしぶ子さん #看護師あるある #看護師 #看護学生



図 1 「看護師の夜勤あるある」を投稿したツイート

やっと終わりました」といったツイートを日常投稿として行っています。図 1 は「しぶ子さん」の 4 コマ漫画です。細かいところまで書き込まれていて、看護師ならば思わずニヤリとしてしまうと思います。

「しぶ子さん」のつくりこみに若手組合員に参加してもらおうというアイデアは、毎月病院支部の分会で「しぶ子フォーカスグループ」を行うことで実現されています。「フォーカスグループ」では若手の組合員に集ってもらい「どうして都立病院に就職したのか」とか「冬のボーナスをどうする」といったテーマで話を聞いています。分会の役員でもない一般組合員の話の直接聞く機会はあまりないので貴重な機会になっています。聞いた話は看護師あるあるとして 4 コマ漫画で展開しています。このような「しぶ子さん」の展開はちっとも組合らしくないじゃないかと思われるかもしれませんが、「しぶ子さん」はほんのりキャラと設定されているので、「しぶ子さん」が直接組合の主張をすることはありません。開始時の設定はなんと組合未加入です。「しぶ子さん」がただ働きが辛くて組合に相談して、組合加入する一連の流れを図のように 4 コマ漫画としてツイートしています。また都庁職病院支部公式 Twitter を「しぶ子さん」が共感してリツイートすることで支部の主張を拡散することに一役買っています。「し